

そうじゃ吉備路マラソンのテーマソング

# ゴーストノートが制作



写真右から、中村勇介さん、佐藤慎治さん、大平伸正さん、市長

3人組のロックバンドghostnote（ゴーストノート）が、そうじゃ吉備路マラソンを盛り上げようと、テーマソングを制作します。

作詞・作曲、歌のすべてを同バンドが担当し、12月中旬の発表披露を予定。ボーカルでギターの大平伸正さんが清音柿木出身だったことから、今年5月に市を敬訪問したことをきっかけに、制作が決まりました。

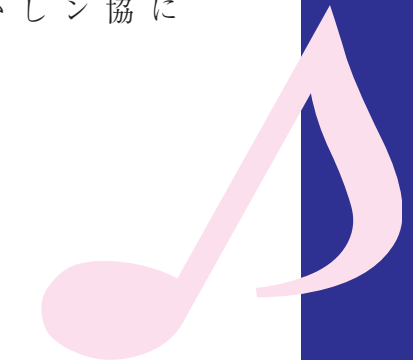
10月25日、同バンドの3人が市長室を訪ね、市長と曲のコンセプトやイメージなどを話し合いました。大平さんは、「ラ

## 12月中旬の発表披露を目指す

ランナーの背中を押し、がんばっている人たちに応援できるメッセージを込めたい。固有の名称は使わないが、総社をイメージでき、みんなに聴いてもらえる曲に仕上げたい」と、曲作りの方向を示しました。

ゴーストノートは、平成20年にメジャーデビュー。代表曲は、「スター」や「ボクキミビリーバー」、サッカーJ2のフジアーン岡山のイメージソング「夢」など。ベースの佐藤慎治さんは岡山市出身、ドラムの中村勇介さんは倉敷市出身です。

## 「ランナーの背中を押せる曲にしたい」



音楽や教育、文化、まちづくり、人材育成などの分野で、連携・交流を深めるため、くらしき作陽大学と市は11月2日、「くらしき作陽大学と総社市との連携協力に関する協定」を締結しました。

協定は、さまざまな分野において、相互に連携する内容。これまでも音楽の分野で交流があったものの、組織的により深い連携をするため、調印となりました。同大学は、音楽、食文化、子ども教育の3学部。協定に基づき、総社の音楽レベルの向上にむけた取り組みに力を入れるのをはじめ、保育所や幼稚園、小・中学校での教育実習やインター

## くらしき作陽大学と包括協定を締結 音楽や子育てで連携

音楽指導、教育実習やインターンシップの受け入れなど



協定書に署名・押印するくらしき作陽大学の有本章学長と市長、渡邊繁雄議長（左から）



調印式で、全国大会に出場した合唱団こぶが、協定締結を祝い、「地球星歌～笑顔のために～」で歌声を披露した

ンシップの受け入れ、吹奏楽部やコーラス部の練習指導、食育の啓発活動などを考えています。調印式は市役所で行われ、同大学の有本章学長と

市長、渡邊繁雄議長の3人が協定書に署名・押印。有本章長は「大学のもつ力を発揮し、相互互恵の精神で双方の発展につなげたい」と話しました。

市では、平成20年2月に岡山県立大学とも同様の協定を結び、共同研究やインターンシップなどを連携して行い、まちづくりに生かしています。

**そうじゃ吉備路マラソン 参加者募集中**

来年2月26日開催。フルマラソンやハーフマラソン、5km、3km、900mと2kmのファミリーマラソンの6種目で参加者を募集しています。右のQRコードからも申し込みができます。